

Fellowship for the Advancement of Radiology

情報誌

F A R

26 号

事務局：(社) 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

FAR 会業務のスムーズなバトンタッチを願って

副会長 四宮恵次



FAR 会の皆さん、平成 22 年寅年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。私こと、昨年 10 月の役員会で副会長の指名を受け、早速、巻頭言を書く羽目になった次第で、僭越ですが、ご挨拶かたがた FAR 会への想いを述べさせていただきます。

情報誌 25 号の山田勝彦副会長《ごあいさつ》に述べられているように“会員の高齢化と会員数の斬減が気にかかり、役員会で重要検討事項となっております”。

ご高承の如く、私どもの FAR 会は、平成 13 年 4 月 5 日、今では懐かしい神戸での第 57 回総会学術大会時に発足しましたが、発足して約 9 年、最盛期には 107 名もいた会員が、日本の移り変わりに同調するかのごとく高齢化が進み、現在では 94 名となってしまう、このままでは“JSRT 老人会”になってしまうのではないかと恐れている状況です。

現実には新入会が極めて少ないばかりか、会員の中でも FAR 会の正しい意味や入会資格、入会手続などをご存じない方々もおられることを知り、我々役員の責任と深く反省している次第で、もっとも重要な情報の共有を怠った報いとも考えております。

幸い本年は、JSRT ホームページの中に FAR 会 HP を設けることが決定し、これをもって JSRT 会員や一般の方々への PR 体制を確立し、さらに有料メーリングリストの導入によって会員相互の意思相通を瞬時に図って行きたいと考えております。また JSRT 事務局員との連携を一層密にして皆さんと共に会員の拡大に努めて行きたいと願っております。

最近の話題として、与党、野党を問わずいろいろな団体で、若手化が議論されておりますが、運営役員の固定化は無難な事業継承であることは事実として、気がついた時には大手術をしなければ手遅れとなってしまうと云う恐れも多分にあります。FAR 会もその兆候が無きにしも非ずと感じている一人です。

この度の副会長就任要請も、私としては 60 台の若々しい方を推薦しましたが、多くの世話人の声に押切られてお受けすることになってしまいました。

しかし、FAR 会の特徴は、規約第 5 条(会員の扱いと義務)にある如く「この会の会員は、年齢、性別、経歴など、過去・現在の如何なる事項に関係なく、同等の扱いを受ける」とあることから、情熱のある方は遠慮なく世話人として手を挙げ、お手伝い下さるようお願いいたします。

内 容

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. ごあいさつ | 副会長 四宮恵次 |
| 2. 2010 FAR 会懇親の夕べ | |
| 3. 2009 FAR 会 美作・湯郷への旅報告 | |
| 4. 会員動向 | |
| 5. 会からのお知らせ | |
| 6. 特集「吐露」 | |
| 1) “おひとりさま”について考える | 飯山清美 |
| 2) 井戸で金魚を見た | 神澤良明 |
| 3) 女性専用車両の影響 | 草山泰子 |
| 4) はじめての野菜づくり | 佐々木正寿 |
| 5) Win Home Server 導入への眩き | 森 克彦 |
| 7. 会員投稿 | |
| 仙人になりそこなった はなし | 遠山坦彦 |
| 8. JSRT 情報 | |
| 9. 第 27 号の特集原稿募集 | |
| 10. 連載《ご当地自慢 その一》 | 前越 久 |
| 「名古屋の巻き」 | |
| 11. 編集後記 | |